

## 管理型産業廃棄物最終処分量の将来予測

### 1 将来予測（基本ケース）

将来予測の基本ケースとは、燃え殻（一般）の影響とエコサイクルセンター利用者の排出見込量を考慮したケースである。

ここでは、エコサイクルセンター利用者の排出見込量について、第2回委員会以降に得られた利用者アンケートの追加回答により見直しを行ったところ、表 1-1 のとおりであった。

表 1-1 エコサイクルセンター利用者の排出見込量

	実績値	将来予測値(追加回答により見直し)				前回結果 (第2回委員会)
		平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度	平成42年度
燃え殻	3,136	3,324	3,324	3,324	3,324	
ばいじん	418	493	493	493	493	
汚泥	30	25	25	25	25	
鉱さい	4,801	5,329	5,329	5,377	5,425	
廃石綿等	44	52	55	58	65	
廃石膏ボード	3,112	3,174	3,143	3,143	3,112	
建設混合廃棄物	21	22	23	24	24	
合計	11,562	12,419	12,392	12,444	12,468	

[単位:t/年]

各品目の将来予測値については、エコサイクルセンター利用者の受入実績値(平成27年度)に変動指数(増減率)を乗じて算定。

【計算例】燃え殻[H32]:  $3,324t = (3,136t[H27] \times 106[H32]) \div 100$

【備考：利用者アンケートにおける追加回答の内容（1）】

≪追加回答前後の回答率≫

	追加回答により見直し	前回結果 (第2回委員会)
調査対象数	172社	172社
回答者数	93社	77社
回答率	54.1%	44.8%
回答者が埋立実績に占める割合	97.5%	91.9%

【備考：利用者アンケートにおける追加回答の内容（２）】

《回答者の埋立実績における占有率》

	実績値[t/年]	追加回答により見直し		前回結果 (第2回委員会)
		回答者[t/年]	占有率[%]	占有率[%]
燃え殻	13,300	12,961	97.5	87.1
ばいじん	1,210	1,210	100.0	99.5
汚泥	1,115	668	59.9	21.6
鉱さい	31,148	30,557	98.1	95.3
廃石綿等	296	193	65.2	23.3
廃石膏ボード	12,259	12,252	99.9	95.9
建設混合廃棄物	183	174	95.1	92.9
合計	59,511	58,015	97.5	91.9

《エコサイクルセンター利用者の排出見込量（産業廃棄物の排出量）》

[単位:t/年]

	実績値	将来見込量		
	平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
燃え殻	2,832	3,010	3,005	3,015
ばいじん	340	401	401	401
汚泥	1,403	1,175	1,175	1,175
鉱さい	4,882	5,443	5,443	5,463
廃石綿等	32	38	40	42
廃石膏ボード	4,434	4,514	4,470	4,472
建設混合廃棄物	1,195	1,282	1,311	1,345
合計	15,118	15,863	15,845	15,913

《エコサイクルセンター利用者の排出見込量（変動指数）》

	基準値	将来予測値(追加回答により見直し)			前回結果 (第2回委員会)
	平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度	平成42年度
燃え殻	100	106	106	106	106
ばいじん	100	118	118	118	118
汚泥	100	84	84	84	82
鉱さい	100	111	111	112	113
廃石綿等	100	119	125	131	147
廃石膏ボード	100	102	101	101	100
建設混合廃棄物	100	107	110	113	114
合計	100	105	105	105	105

エコサイクルセンター利用者の排出見込量(産業廃棄物の排出量)における平成27年度を100とした場合の変動指数(増減率)を示す。

【計算例】燃え殻[H32]:  $106 = (3,010 \text{t}[H32] \div 2,832[H27]) \times 100$

## 2 将来予測（最大ケース）

将来予測の最大ケースとは、基本ケースに産業振興計画と廃石膏ボードの影響を考慮し、最終処分量の増加により埋立期間が最も短縮されるケースである。

### (1) 第3期産業振興計画による見込量

第3期産業振興計画による見込量は、以下の手順により算定した。

- ① 第3期産業振興計画の数値目標から、平成32年度、37年度及び42年度の産業廃棄物最終処分量を積算し、平成26年度からの産業廃棄物最終処分量の増加率を算定した。（表2-1）
- ② エコサイクルセンターの管理型産業廃棄物の埋立実績値に増加率を乗じて、第3期産業振興計画による見込量を算定した。（表2-2）

#### 【備考：第3期産業振興計画における目標値】

産業振興計画における数値目標の項目		目標値					最終処分量の増加が懸念される産業分野
		H26	H31	H33	H37	単位	
農業分野	農業産出額	965	1,060	1,090	1,150	億円	耕種農業+畜産農業
	農業生産量	10	12	12	13	万t	-(農業産出額に含む)
林業分野	原木生産量	61	78	81	90	万m <sup>3</sup>	林業
	木材・木製品製造業出荷額	204	220	232	256	億円	木材・木製品製造業(家具を除く)
水産業分野	漁業生産額	445	460	476	490	億円	漁業
	水産加工出荷額	175	200	203	220	億円	-(食品製造業+飲料・たばこ・飼料製造業に含む)
商工業分野	製造品出荷額等	5,260	6,000	6,400	7,000	億円	製造業 <sup>注1)</sup>
観光分野	県外観光客入込数	408	435	450	470	万人	-(観光総消費額に含む)
	観光総消費額	1,075	1,230	1,300	1,410	億円	飲食店、宿泊業 <sup>注2)</sup>
食品分野	食品製造業出荷額	892	1,000	1,035	1,085	億円	食品製造業+飲料・たばこ・飼料製造業
移住促進	県外からの年間移住者	518	1,000	-	-	組	-(対象外)

注1) 製造業には木材・木製品製造業(家具を除く)、食品製造業+飲料・たばこ・飼料製造業を含む。

注2) 観光総消費額は様々な業種に影響を与えることが想定されるが、最も影響が大きい(平成26年度で総消費額が多い業種)分野である飲食店、宿泊業を対象とした。

注3) 原木生産量の平成26年度の値: 高知県の原木生産量(平成27年)の公表について、高知県林業振興・環境部木材増産推進課

注4) 観光総消費額の平成26年度の値: 平成26年度県外観光客入込・動態調査報告書、高知県観光振興部観光政策課

表 2-1 第3期産業振興計画による産業廃棄物最終処分量の増加率

■第3期産業振興計画の影響を考慮した将来予測の手順

※第3期産業振興計画の影響を考慮した将来予測は、第4期高知県廃棄物処理計画に準拠して実施する。

- ① 平成26年度を基準値とし産業廃棄物排出量、最終処分量、最終処分率、第3期産業振興計画における製造出荷額等を設定する。
- ② 平成26年度における産業廃棄物の排出原単位を設定する。
- ③ 産業振興計画の数値目標を設定する。(数値目標はH37年度までとなっているため、H42年度の値は同様の傾向で推移するものと仮定して設定)
- ④ 産業廃棄物の排出原単位と産業振興計画の数値目標から産業廃棄物排出量の将来予測値を算定する。
- ⑤ 平成26年度の業種別の産業廃棄物の最終処分率と④排出量の将来予測値から最終処分量の将来予測値を算定する。
- ⑥ 最終処分量の増加率を算定する。

■第3期産業振興計画の影響を考慮した将来予測値

業種	①基準値		②排出原単位		③第3期産業振興計画の数値目標				④排出量の将来予測値[t/年]				⑤最終処分量の将来予測値[t/年]					
	排出量 [t/年]	最終処分量 [t/年]	最終処分率 [%]	第3期産業振興計画	H26年度	単位	H32年度	H37年度	H42年度	単位	H32年度	H37年度	H42年度	H42年度	H32年度	H37年度	H42年度	H42年度
A 農業	1,592	227																
耕種農業+畜産農業	1,253	193	15.4	965 億円	1,298 t/億円	1,075	1,150	1,230	億円	1,395	1,493	1,597	215	230	251	268	287	
林業	61	10	16.4	61 万m3	1,000 t/万m3	80	90	101	万m3	80	90	101	13	15	13	15	17	
その他の農業・林業	278	24	8.6							264	270	276	23	23	23	23	24	
B 漁業	461	29	6.3	445 億円	1,036 t/億円	468	490	513	億円	485	508	531	31	32	31	32	33	
C 鉱業	1,015	148	14.6							1,015	1,015	1,015	148	148	148	148	148	
D 建設業	458,289	18,863	4.1							432,950	430,930	428,918	17,751	17,668	17,751	17,668	17,586	
E 製造業	121,876	9,327	7.7							143,322	162,481	184,256	11,037	12,560	11,037	12,560	14,293	
食品製造業・飲料・たばこ・飼料製造業	11,502	475	4.1	892 億円	12,895 t/億円	1,018	1,085	1,156	億円	13,127	13,991	14,907	538	574	538	574	611	
木材・木製品製造業(家具を除く)	14,510	0	0.0	204 億円	71,127 t/億円	226	256	290	億円	16,075	18,209	20,627	0	0	0	0	0	
その他の製造業	95,865	8,852	9.2	4,164 億円	23,022 t/億円	4,957	5,659	6,460	億円	114,120	130,281	148,722	10,499	11,986	10,499	11,986	13,682	
F 電気・ガス・熱供給・水道業	416,860	556	0.1							438,874	456,142	474,245	439	456	439	456	474	
G 情報通信業	101	11	10.9							96	90	85	10	10	10	10	9	
H 運輸・郵便業	5,284	780	14.8							5,040	4,878	4,721	746	722	746	722	699	
I 卸売・小売業	27,659	358	1.3							26,068	25,496	24,937	339	331	339	331	324	
J 金融・保険業	441	26	5.9							441	441	441	26	26	26	26	26	
K 不動産業	1,392	344	24.7							1,349	1,356	1,364	333	335	333	335	337	
L 学術研究、専門・技術サービス業	3,276	34	1.0							3,726	4,089	4,501	37	41	37	41	45	
M 飲食店、宿泊業	664	278	41.9	1,075 億円	0.618 t/億円	1,265	1,410	1,572	億円	782	871	971	328	365	328	365	407	
N 生活関連サービス業、娯楽業	309	42	13.6							330	347	366	45	47	45	47	50	
O 教育、学習支援業	3,740	2,459	65.7							3,740	3,740	3,740	2,457	2,457	2,457	2,457	2,457	
P 医療、福祉	8,511	1,910	22.4							8,332	8,219	8,106	1,866	1,841	1,866	1,841	1,816	
Q 複合サービス業	3,341	466	13.9							3,002	2,900	2,801	417	403	417	403	389	
R サービス業(他に分類されないもの)	75,285	5,211	6.9							75,082	74,244	74,347	5,181	5,123	5,181	5,123	5,130	
S 公務	4,194	651	15.5							4,329	4,452	4,579	671	690	671	690	710	
T 分類不能の産業	7,392	185	2.5							7,392	7,392	7,392	185	185	185	185	185	
U その他	2,320	58	2.5							2,320	2,320	2,320	58	58	58	58	58	
合計	1,144,002	41,963								1,160,414	1,193,764	1,231,610	42,356	43,766	42,356	43,766	45,463	
⑥産業廃棄物最終処分量の増加率													100.9	104.3	100.9	104.3	108.3	

出典1) 第4期高知県廃棄物処理計画(平成28年3月)

出典2) 第3期高知県産業振興計画(平成28年3月)

注1) 色つきは、第3期産業振興計画で数値目標の項目を示す。

注2) 小数点以下を四捨五入していることから、合計が一致しない場合がある。

表 2-2 産業振興計画による見込量

	平成26年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
A: 第3期産業振興計画による産業廃棄物最終処分量の増加率[%]	100	100.9	104.3	108.3
B: エコサイクルセンター埋立実績値(管理型産業廃棄物)[t]	11,809	-	-	-
第3期産業振興計画による見込量(A×B(H26))[t]	-	11,915	12,317	12,789

注) 量及び割合は表示桁以下を四捨五入している。

## (2) 廃石膏ボードの排出量

空き家率を考慮した廃石膏ボードのエコサイクルセンターへの搬入見込量は、以下の手順により算定した。

- ① 平成25年住宅・土地統計調査(総務省)の結果から高知県における空き家率10.6%を用いて、空き家率を考慮した廃石膏ボードの減少率を算定した。(表2-3)
- ② 空き家率を考慮しない場合の廃石膏ボードの搬入見込量(第2回委員会資料1の13頁で提示)に減少率を乗じて、空き家率を考慮した搬入見込量を算定した。(表2-4)

表 2-3 空き家率を考慮した廃石膏ボードの減少率

			将来予測値		
			平成32年度	平成37年度	平成42年度
空き家率を考慮しない場合	廃石膏ボードの排出量[t]	A1: 新築系	644	636	636
		A2: 解体系	5,868	7,420	8,992
		A3: 合計(A1+A2)	6,512	8,056	9,628
	廃石膏ボードの最終処分量[t]	B1: 新築系(A1×4%)	26	25	25
		B2: 解体系(A2×70%)	4,108	5,194	6,294
		B3: 合計(B1+B2)	4,134	5,219	6,319
	C: 空き家率[%]	10.6	10.6	10.6	
空き家率を考慮する場合	廃石膏ボードの排出量[t]	D1: 新築系(A1)	644	636	636
		D2: 解体系(A2×(100-C)%)	5,246	6,633	8,039
		D3: 合計(D1+D2)	5,890	7,269	8,675
	廃石膏ボードの最終処分量[t]	E1: 新築系(D1×4%)	26	25	25
		E2: 解体系(D2×70%)	3,672	4,643	5,627
		E3: 合計(E1+E2)	3,698	4,668	5,652
空き家率を考慮した廃石膏ボードの減少率[%](E3÷B3)		89.5	89.4	89.4	

出典) 平成25年住宅・土地統計調査、総務省

注1) 空き家率は、平成25年度の値と同様の傾向で推移することを想定。

表 2-4 空き家率を考慮した廃石膏ボードの搬入見込量

	将来予測値		
	平成32年度	平成37年度	平成42年度
A: 空き家率を考慮した廃石膏ボードの減少率[%]	89.5	89.4	89.4
B: 廃石膏ボードの搬入見込量 (空き家率を考慮しない場合) [t]	4,108	5,197	6,286
廃石膏ボードの搬入見込量 (空き家率を考慮した場合) [t] (A×B)	3,677	4,646	5,620

注1) 空き家率は、平成25年度の値と同様の傾向で推移するものとして設定。

注2) 量及び割合は表示桁以下を四捨五入している。

【備考：高知県における空き家率】

地域	住宅総数										Dwellings Unoccupied					建設中
	居住世帯あり					居住世帯なし					Vacant					
	総数	同居住世帯あり	Occupied	同居住世帯あり	総数	一時見住者のみ	空き家	二次的住宅	As second dwellings	別荘	その他	賃貸用の住宅	売却用の住宅	その他の住宅		
全	60,628,600	52,102,200	51,842,900	259,300	8,526,400	242,800	8,195,600	12,100	254,400	157,600	4,291,800	308,200	3,183,600	88,100		
01 北海道	2,746,600	2,345,700	2,332,900	12,800	400,800	9,100	388,200	12,100	6,200	5,900	224,300	12,400	139,500	3,500		
02 青森県	586,300	503,000	501,200	1,900	83,300	1,500	81,200	2,000	1,100	900	40,900	4,000	36,600	600		
03 岩手県	552,100	472,800	471,800	1,000	79,300	2,400	76,300	4,100	2,000	2,000	30,200	1,000	41,000	600		
04 宮城県	1,034,100	931,700	928,200	3,500	102,300	3,700	96,900	3,200	1,100	2,100	48,800	1,900	43,000	1,700		
05 秋田県	446,900	389,000	388,000	1,000	57,900	900	56,600	3,300	400	900	20,500	1,300	33,500	400		
06 山形県	431,900	383,900	383,300	600	48,000	1,300	46,100	2,300	500	1,900	20,400	1,100	22,200	600		
07 福島県	782,300	686,000	683,800	2,200	96,300	3,100	91,800	5,400	3,200	2,200	35,900	3,900	46,500	1,400		
08 茨城県	1,268,200	1,076,100	1,072,700	3,400	192,100	5,500	184,700	8,500	5,400	3,100	104,100	4,900	67,200	1,900		
09 栃木県	879,000	730,200	726,600	3,600	148,800	4,000	143,400	16,900	14,800	2,200	76,000	2,500	50,200	1,400		
10 群馬県	902,900	748,100	744,600	3,500	154,800	2,800	150,100	16,900	14,800	2,200	74,700	2,100	56,400	1,900		
11 埼玉県	3,266,300	2,894,900	2,873,300	21,600	371,400	10,100	355,000	9,200	2,700	6,500	210,700	22,900	112,200	6,400		
12 千葉県	2,896,200	2,517,000	2,507,200	9,800	379,200	8,500	367,200	23,400	17,900	5,900	194,200	15,200	134,400	3,400		
13 東京都	7,359,400	6,472,600	6,441,500	31,100	886,800	60,200	817,100	12,100	1,800	10,400	598,400	54,100	152,400	9,500		
14 神奈川県	4,350,800	3,843,200	3,815,600	27,600	507,700	14,900	486,700	24,600	13,600	11,100	304,300	24,500	133,200	6,100		
15 新潟県	972,300	835,100	832,400	2,800	137,100	3,900	132,000	7,700	4,100	3,600	51,100	2,900	70,300	1,300		
16 富山県	409,000	379,900	378,700	1,100	59,100	2,000	56,200	1,400	400	1,100	22,000	1,900	30,800	900		
17 石川県	520,400	439,900	437,600	2,300	80,500	2,000	76,900	3,500	1,300	2,100	35,900	1,400	30,800	1,500		
18 福井県	309,600	265,200	264,600	700	44,400	700	43,000	1,200	600	600	18,800	500	22,500	600		
19 山梨県	422,100	326,700	325,400	1,200	95,400	2,000	92,900	2,200	1,700	2,300	37,400	1,800	33,600	500		
20 長野県	982,200	783,200	780,400	2,800	190,000	3,300	184,000	51,100	47,500	3,600	64,800	3,800	74,400	1,700		
21 岐阜県	878,400	739,400	736,100	3,300	138,900	4,000	133,400	8,900	6,000	3,000	62,700	4,100	57,600	1,600		
22 静岡県	1,659,300	1,380,400	1,372,100	8,300	278,900	5,500	270,900	42,900	38,700	4,200	137,200	7,500	83,300	2,700		
23 愛知県	3,439,000	2,996,700	2,978,000	18,700	442,300	12,200	422,000	8,600	1,300	7,300	294,100	14,900	134,500	8,100		
24 三重県	831,200	699,400	698,000	1,400	131,700	2,000	128,500	5,700	3,600	2,100	51,000	2,900	69,000	1,200		
25 滋賀県	602,500	521,500	519,600	1,900	81,000	2,000	77,800	7,900	5,600	2,300	31,300	3,000	35,700	1,200		
26 京都府	1,320,300	1,135,000	1,130,600	4,400	185,200	7,700	175,300	9,400	4,000	5,500	80,600	7,700	77,500	2,200		
27 大阪府	4,586,000	3,882,400	3,862,900	19,500	703,600	21,000	678,800	13,800	1,300	12,500	418,700	31,900	214,400	3,800		
28 兵庫県	2,733,700	2,368,300	2,355,400	12,900	365,400	6,400	356,500	14,800	7,000	7,900	172,700	21,400	147,700	2,600		
29 奈良県	615,000	527,700	525,100	2,500	87,300	2,200	84,500	3,000	900	2,100	35,100	3,700	42,700	600		
30 和歌山県	475,900	388,100	386,600	1,500	87,800	1,300	86,000	7,600	6,000	1,600	27,800	2,400	48,200	500		
31 鳥取県	250,100	213,100	212,200	900	37,000	800	35,900	1,500	1,000	900	13,200	800	20,700	300		
32 島根県	304,200	258,300	257,200	1,100	45,900	800	44,800	2,100	1,000	1,100	12,900	800	29,000	300		
33 岡山県	885,300	740,400	736,000	4,400	144,900	2,500	140,100	3,700	1,900	1,900	61,600	3,100	71,700	2,200		
34 広島県	1,393,500	1,166,700	1,160,100	6,600	226,800	3,700	221,300	8,300	3,500	4,800	105,100	6,500	101,400	1,800		
35 山口県	706,400	588,800	584,900	3,900	117,700	2,400	114,400	4,300	1,100	3,200	43,700	3,500	62,900	800		
36 徳島県	384,900	298,800	297,500	1,300	66,000	1,400	64,000	3,400	1,800	1,600	23,300	1,300	36,000	600		
37 香川県	470,500	387,500	385,800	1,700	83,100	1,200	80,900	3,000	900	2,000	30,300	2,000	45,700	900		
38 愛媛県	705,200	578,900	574,300	4,600	126,300	1,700	123,400	3,900	1,500	2,400	50,300	2,100	67,100	1,200		
39 高知県	392,400	320,900	318,900	2,000	71,500	1,400	69,800	3,700	1,000	2,700	23,700	1,000	41,400	300		
40 福岡県	2,492,700	2,163,200	2,153,900	9,300	329,500	8,100	316,800	6,700	2,200	4,600	181,200	12,200	116,700	4,600		
41 佐賀県	338,200	293,300	292,900	400	44,900	900	43,300	1,200	900	1,000	17,200	900	24,000	700		
42 長崎県	680,100	555,300	553,000	2,300	104,900	3,700	101,800	3,700	1,500	2,200	42,700	2,200	53,200	600		
43 熊本県	804,300	687,200	683,900	3,200	117,000	1,300	114,800	3,900	1,500	2,500	47,700	2,800	60,400	1,000		
44 大分県	569,500	477,300	476,100	1,200	92,100	1,000	89,900	5,000	3,300	3,000	38,800	2,000	43,800	400		
45 宮崎県	533,900	458,200	456,300	1,600	75,800	1,000	74,200	1,700	400	1,300	27,500	1,500	43,600	500		
46 鹿児島県	864,700	713,700	711,100	2,600	151,000	2,900	147,300	4,600	2,000	2,600	44,300	3,000	95,500	700		
47 沖縄県	602,800	537,300	534,500	2,800	65,500	2,500	62,400	3,200	1,400	1,700	33,900	1,600	23,800	600		

空き家率：10.6%＝41,400戸（その他の住宅）÷392,400戸（総数）  
 出典）平成25年住宅・土地統計調査結果、総務省  
 その他の住宅：別荘や賃貸等を除いた純粋な空き家

### 3 長期将来予測

長期将来予測は、将来予測（最大ケース）に基づきエコサイクルセンターの埋立てが終了した後、新たな管理型産業廃棄物最終処分場で埋立てを開始する時期を基準年度（平成 34 年 10 月）とした。

次に、表 3-1 のとおりケース設定を行い、以下の条件に加えて、各ケースの長期将来予測値を算定した。（表 3-2、表 3-3）

（条件）

（1）平成 34 年 10 月から平成 66 年度まで

燃え殻（一般）は考慮しない（全ケース）

（2）平成 42 年度から平成 66 年度まで

① 長期的な予測が困難なものとして、利用者の排出見込量は横ばいで推移（ケース 1）

同様に、産業振興計画による影響量も横ばいで推移（ケース 2）

② 廃石膏ボードの排出量は増加傾向で推移（ケース 2）

表 3-1 長期将来予測のケース設定

	内 容
ケース 1	利用者の排出見込量を考慮した将来予測値のケース
ケース 2	ケース 1 に産業振興計画の影響量、廃石膏ボードの増加量を考慮した将来予測値のケース
ケース 3	H26 年度、H27 年度のエコサイクルセンター埋立実績値の平均値（管理型産業廃棄物：11,686t）で推移するケース ※ $11,686t = (11,809[H26] + 11,562[H27]) / 2$



表 3-2 長期将来予測 (埋立重量)

[単位: t/年]

	長期将来予測値																									
	一燃え殻(一般)を考慮しない 平成34年10月	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	平成44年度	一産業振興計画の影響量は横ばい	平成45年度	平成46年度	平成47年度	平成48年度	平成49年度	平成50年度	平成51年度	平成52年度	平成53年度	平成54年度	平成55年度			
ケース1	燃え殻 ばいじん 汚泥 鉱さい 廃石綿等 廃石膏ボード 建設混合廃棄物 合計	1,662 247 13 2,665 27 1,581 11 <b>6,205</b>	3,324 493 25 5,329 55 3,156 22 <b>12,404</b>	3,324 493 25 5,329 56 3,143 23 <b>12,399</b>	3,324 493 25 5,339 55 3,143 23 <b>12,392</b>	3,324 493 25 5,349 57 3,143 23 <b>12,414</b>	3,324 493 25 5,359 58 3,143 23 <b>12,436</b>	3,324 493 25 5,369 59 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>		
ケース2	産業振興計画の影響量 廃石膏ボードの増加量 合計	0 691 <b>6,896</b>	0 1,605 <b>14,009</b>	0 1,829 <b>14,228</b>	0 2,054 <b>14,446</b>	8 2,490 <b>14,995</b>	174 2,708 <b>15,307</b>	257 2,925 <b>15,618</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>	345 3,143 <b>15,932</b>
ケース3	H26、H27年度の平均値	<b>5,843</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>		
ケース1	燃え殻 ばいじん 汚泥 鉱さい 廃石綿等 廃石膏ボード 建設混合廃棄物 合計	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>		
ケース2	産業振興計画の影響量 廃石膏ボードの増加量 合計	345 3,766 <b>16,555</b>	345 3,983 <b>16,772</b>	345 4,170 <b>16,959</b>	345 4,357 <b>17,146</b>	345 4,544 <b>17,488</b>	345 4,761 <b>17,550</b>	345 4,824 <b>17,613</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>	345 4,886 <b>17,675</b>
ケース3	H26、H27年度の平均値	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>		
ケース1	燃え殻 ばいじん 汚泥 鉱さい 廃石綿等 廃石膏ボード 建設混合廃棄物 合計	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>	3,324 493 25 5,377 58 3,143 24 <b>12,444</b>		
ケース2	産業振興計画の影響量 廃石膏ボードの増加量 合計	345 5,042 <b>17,831</b>	345 5,104 <b>17,893</b>	345 5,166 <b>17,955</b>	345 5,228 <b>18,017</b>	345 5,259 <b>18,048</b>	345 5,384 <b>18,173</b>	345 5,446 <b>18,235</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>	345 5,477 <b>18,266</b>		
ケース3	H26、H27年度の平均値	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>	<b>11,686</b>		

注1) 長期将来予測は、最大ケースにおけるエコサイクルセンター埋立終了時期である平成34年10月から算定。  
 注2) ケース3については、H26、H27年度の埋立実績値から燃え殻(一般)を除外した値の平均値として算定。※11,686=(1,1809[H26]+11,562[H27])/2  
 注3) 平成34年10月～は、燃え殻(一般)は考慮しない。  
 注4) 平成42年度以降は、利用者の排出量、第3期産業振興計画の影響量は横ばい、廃石膏ボードの排出量は増加傾向(石膏ボード工業会のデータを活用)で推移するとして算定。  
 注5) 平成34年度については、平成34年9月でエコサイクルセンターが埋立終了すると見込まれることを踏まえ、平成34年10月～平成35年3月までの将来予測値を記載。  
 注6) 端数処理の関係から合計が一致しない場合がある。

表 3-3 長期将来予測 (埋立重量と埋立容量)

		長期将来予測値																								
		→燃え殻(一般)を考慮しない															→産業振興計画の影響量は横ばい									
		平成34年10月	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	平成43年度	平成44年度	平成45年度	平成46年度	平成47年度	平成48年度	平成49年度	平成50年度	平成51年度	平成52年度	平成53年度	平成54年度	平成55年度			
ケース1	埋立重量[t]	6,205	12,404	12,399	12,392	12,403	12,414	12,425	12,436	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444		
	埋立容量[m3]	4,464	8,924	8,920	8,915	8,923	8,931	8,939	8,947	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	
	埋立重量[t]	6,896	14,009	14,228	14,446	14,683	14,995	15,307	15,618	15,932	16,150	16,368	16,586	16,804	17,022	17,240	17,458	17,676	17,894	18,112	18,330	18,548	18,766	18,984	19,202	
ケース2	埋立重量[t]	4,961	10,078	10,236	10,393	10,563	10,788	11,012	11,236	11,462	11,686	11,910	12,134	12,358	12,582	12,806	13,030	13,254	13,478	13,702	13,926	14,150	14,374	14,598	14,822	
	埋立容量[m3]	5,843	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686
	埋立重量[t]	4,204	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407
ケース3	埋立重量[t]	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444
	埋立容量[m3]	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953
	埋立重量[t]	16,555	16,772	16,959	17,146	17,333	17,488	17,550	17,613	17,675	17,737	17,799	17,861	17,923	17,985	18,047	18,109	18,171	18,233	18,295	18,357	18,419	18,481	18,543	18,605	18,667
ケース4	埋立重量[t]	11,910	12,066	12,201	12,335	12,470	12,581	12,626	12,671	12,716	12,761	12,806	12,851	12,896	12,941	12,986	13,031	13,076	13,121	13,166	13,211	13,256	13,301	13,346	13,391	13,436
	埋立容量[m3]	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686
	埋立重量[t]	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407
ケース5	埋立重量[t]	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444
	埋立容量[m3]	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953
	埋立重量[t]	17,831	17,893	17,955	18,017	18,048	18,111	18,173	18,235	18,297	18,359	18,421	18,483	18,545	18,607	18,669	18,731	18,793	18,855	18,917	18,979	19,041	19,103	19,165	19,227	19,289
ケース6	埋立重量[t]	12,828	12,873	12,917	12,962	12,984	13,029	13,074	13,119	13,164	13,209	13,254	13,299	13,344	13,389	13,434	13,479	13,524	13,569	13,614	13,659	13,704	13,749	13,794	13,839	13,884
	埋立容量[m3]	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686
	埋立重量[t]	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407

注1) 長期将来予測は、最大ケースにおけるエコサイクルセンター埋立終了時期である平成34年10月から算定。  
 注2) ケース3については、H26、H27年度の埋立実績値から燃え殻(一般)を除外した値の平均値として算定。※11,686=(11,809[H26]+11,562[H27])/2  
 注3) 平成34年10月～は、燃え殻(一般)は考慮しない。  
 注4) 平成42年度以降は、利用者の排出量、第3期産業振興計画の影響量は横ばい、廃石膏ボードの排出量は増加傾向(石膏ボード工業会のデータを活用)で推移するとして算定。  
 注5) 平成34年度については、平成34年9月でエコサイクルセンターが埋立終了と見込まれることを踏まえ、平成34年10月～平成35年3月までの将来予測値を記載。  
 注6) 端数処理の関係から合計が一致しない場合がある。  
 注7) 埋立重量から埋立容量を算定した換算係数は、1.39t/m3を使用(換算係数は、H27年度のエコサイクルセンターの埋立実績値から算定。※1.39=12,212÷8,799)